

## ZEH建築割合実績と今後の普及目標について

我が国では、「第5次エネルギー基本計画(2018年7月閣議決定)」において「2020年までにハウスメーカー等が新築する注文戸建住宅の半数以上で、2030年までに新築住宅の平均で、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の実現を目指す」とする政策目標を設定しております。

また、上記目標に向けた20年・30年まで活動を、それぞれ第1フェーズ・第2フェーズと設定し、この21年度から第2フェーズに入ります。

トヨタホームとしましては、政策目標の実現に向けて、関係省庁等が策定した「ZEHロードマップ」に基づき、全社を挙げて2016年より普及に向けた取り組みを行って参りました。

また、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業におけるZEHビルダー登録事業者として、取り組み結果と、今後の目標値を数値化し、毎年公表させていただいております。

本件も、21年度もZEHビルダー登録事業者としまして、第1フェーズの最終結果である20年度の実績報告および、第2フェーズの中間地点である25年度の目標値を下記のとおり設定し、公表させていただきます。

今後も2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会実現の一環として、ZEH普及は重要なテーマと位置づけ、推進強化を図って参ります。

### 記

#### <ZEH建築割合目標と実績>

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	25年度
(※) ZEH普及割合	実績					目標
	7%	11%	25%	30%	58%	75%

(※) 新築注文戸建住宅と新築建売戸建住宅全体に対するZEH(Nearly ZEH含む)の割合

以上